

田中平八 教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>*学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 田中平八・市原茂・石原正規「幾何学的錯視と輪郭線のぼかし (blur)」『人文学報』(東京都立大学) 1999年、第297号、41～68ページ (共著)</li> <li>2) 田中平八「実践と理論のあいだに (1) : 公式理論と内潜理論」『幼児の教育』1999年、第98巻第9号、22～28ページ (単著)</li> <li>3) 田中平八「実践と理論のあいだに (2) : 公式理論と内潜理論」『幼児の教育』1999年、第98巻第10号、16～22ページ (単著)</li> <li>4) 田中平八「青年期における自己制御の場についての環境心理学的研究『総合都市研究』(東京都立大学年研究所) 1999年、第70号、121～135 (単著)</li> <li>5) 田中平八「実践と理論のあいだに (3) : 公式理論と内線理論」『幼児の教育』2000年、第99巻第1号、121～29ページ (単著)</li> <li>6) 田中平八「幾何学的錯視現象と研究の枠組み (2) 幾何学的錯視研究の経過」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2000年、第1号、79～100ページ (単著)</li> <li>7) 田中平八・青木紀久代・尾見康博・田中吉史 (編訳)『心理臨床・カウンセリングコースで学ぶべき心理学』(垣内出版) 2001年 (共著)</li> <li>8) 田中平八「幾何学的錯視現象と研究の枠組み (3) : W.Köhlerの「飽和説」をめぐって」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2001年、第2号、93～102ページ (単著)</li> <li>9) 田中平八「幾何学的錯視現象と研究の枠組み (4) : 視覚の誘導場理論」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2002年、第3号、80～97ページ (単著)</li> <li>10) 田中平八「幾何学的錯視現象と研究の枠組み (5) : 錯視の合理的分類」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2003年、第4号、88～105ページ (単著)</li> </ol>
<p>II 学会報告</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 田中平八・市原茂・大山正・今井省吾「シンポジウム：錯視研究の多様なアプローチ」『日本心理学会第63回大会発表論文集』(中京大学) (54ページ)、1999年9月6日 (共著)</li> <li>2) 田中平八「樹木イメージについての探索的研究」『日本心理学会第63回大会発表論文集』(中京大学) 521ページ、1999年9月7日 (単著)</li> <li>3) 田中平八「『思春期危機』体験についての青年の危機」『日本心理学会第64回大会発表論文集』(京都大学) 974ページ、2000年11月6日 (単著)</li> </ol>

小松田儀貞 助教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>*学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小松田儀貞「ブルデュー社会学の再構成ーポスト・モダン社会学は可能か?ー」『富士大学紀要』(富士大学学術研究会)2000年、第32巻第2号、113~120ページ(単著)</li> <li>2) 小松田儀貞「中山間地域自治体における保健・医療・福祉システム地域的総合化の展開ー岩手県藤沢町の事例を中心にー」『富士大学紀要』(富士大学学術研究会)2001年、第33巻第2号、123~132ページ(単著)</li> <li>3) 小松田儀貞「ブルデュー社会学における批判的モメントと「再帰性」についてのー考察」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター)2003年、第4号、78~87ページ(単著)</li> <li>4) 小松田儀貞「ブルデューの再帰的社会学と「社会理論」ー社会学的認識の国際的流通の条件ー」『社会学研究』(東北社会学研究会)2003年、第74号、1~25ページ(単著)</li> <li>5) 小松田儀貞「ブルデュー社会学における「場」概念についてのー考察」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター)2004年、第5号、77~83ページ(単著)</li> </ol>
<p>IV 講演、公開講座等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 富士大学市民セミナー「「専業主婦」の得失ー「男女共同参画社会」の足元を考えるー」(2000年10月18日、於：富士大学)</li> <li>2) 藤沢町福祉医療センター第10回記念在宅支援研究会(地域社会振興財団共催)「在宅支援研究会と私」(2001年2月17日、於：藤沢町文化会館)</li> <li>3) 秋田県立大学公開講座「秋田その未来」「『スローな』生活と地域文化」(2003年5月24日、於：秋田市ジョイナス3階大研修室および9月20日、於：鷹巣町公民館)</li> </ol>
<p>V その他の活動(助成研究、報告書等)</p>	<p>*助成研究</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1999~2000年度文部省科学研究費基盤研究C(2)「保健・医療・福祉システムの地域的総合化に関する社会学的研究」(課題番号11610196)</li> </ol> <p>*報告書</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1999~2000年度文部省科学研究費基盤研究C(2)「保健・医療・福祉システムの地域的総合化に関する社会学的研究」研究成果報告書、2001年3月</li> </ol>

## 長澤吉則 助教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 長澤吉則「第1章運動・スポーツ実施の意義, 第2節生物学的意義, 第2項身体運動の効果」21-25頁、「第2章運動・スポーツの実践, 第1節運動のしくみ, 第3項運動を調節するしくみ」71-77頁、「第3章運動・スポーツ実施の効果, 第1節身体的効果, 第2項呼吸循環器への効果」164-168頁、出村慎一, 松沢甚三郎, 多田信彦, 島田茂, 池本幸雄 編著「テキスト保健体育」大修館書店(共著)2002年</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 山次俊介, 出村慎一, 長澤吉則, 中田征克, 松沢甚三郎, 島田茂: キネシオテーピングが下肢の等速性筋力発揮に及ぼす効果, 体力科学 48: 281-290, 1999.</p> <p>2) 出村慎一, 山次俊介, 南雅樹, 長澤吉則, 北一郎, 松沢甚三郎: 静的瞬発握力発揮時の増張力局面における発揮パターンの再現性とカー時間変数の信頼性の検討, 体力科学48: 493-500, 1999.</p> <p>3) Susumu Sato, Shinichi Demura, Hidetsugu Kobayashi, Fumio Goshi, Masaki Minami, Yoshinori Nagasawa, Shunsuke Yamaji. : Characteristics of ADL ability on partially dependent older adults: comparison among different ambulatory activities levels. Applied Human Science 18: 169-174, 1999.</p> <p>4) 小林秀紹, 出村慎一, 郷司文男, 南雅樹, 長澤吉則, 佐藤進, 野田政弘: 男子高校生及び大学生における疲労自覚症状, 主観的疲労, 生活習慣の関連, 日本衛生学雑誌 54: 552-562, 1999.</p> <p>5) 小林秀紹, 出村慎一, 郷司文男, 南雅樹, 長澤吉則, 佐藤進: 山次俊介: 青年期における疲労自覚症状とその関連要因の性差, 体力科学 48: 619-630, 1999.</p> <p>6) 吉村喜信, 出村慎一, 山次俊介, 長澤吉則, 小林秀紹: 大学馬術競技選手と国内一流馬術競技選手の競技意欲及び心理的競技能力の比較, CIRCULAR 60: 47-52, 1999.</p> <p>7) 山次俊介, 出村慎一, 中田征克, 郷司文男, 南雅樹, 長澤吉則: アルコール摂取による外乱刺激を与えた場合の重心動揺の検討—信頼性及び変数の特性の観点から—, CIRCULAR 60: 71-79, 1999.</p> <p>8) 小林秀紹, 出村慎一, 郷司文男, 南雅樹, 長澤吉則, 佐藤進: 青年期男子における疲労自覚症状の日内及び日間変動傾向, 日本衛生学雑誌 54: 622-630, 2000</p> <p>9) 出村慎一, 山次俊介, 長澤吉則, 松沢甚三郎, 島田茂: キネシオテーピングが激運動前後の等速性筋力発揮及び膝関節可動域に及ぼす効果, 教育医学 45: 821-831, 2000.</p> <p>10) Yoshinori Nagasawa, Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Hidetsugu Kobayashi, Jinzaburo Matsuzawa: Ability to coordinate exertion of force by the dominant hand: comparisons among university students and 65- to 78-year-old men and women. Perceptual and Motor Skills 90: 995-1007, 2000.</p> <p>11) 中田征克, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介, 松沢甚三郎: 最大下握力発揮時における</p>
------------------	--

- 筋力発揮調整能に及ぼす目標値表示速度の影響, 教育医学 45:901-906, 2000.
- 12) 出村慎一, 山次俊介, 長澤吉則, 小林秀紹, 南雅樹, 豊島慶男: 激運動後の等速性筋力発揮の回復に及ぼす直線偏光処理近赤外線照射の効果, 体力科学 49:459-468, 2000.
- 13) 長澤吉則, 出村慎一, 吉村喜信, 山次俊介, 中田征克, 松澤甚三郎: 握力持続発揮時の力量と主観的筋疲労感覚の関係, 体力科学 49:495-502, 2000.
- 14) 山次俊介, 出村慎一, 長澤吉則, 中田征克, 吉村喜信, 松澤甚三郎, 豊島慶男: 持続性最大握力発揮における静的筋持久力の評価変数の検討, 体育学研究 45:695-706, 2000.
- 15) 奥野孝一, 長澤吉則, 小林孝雄, 高橋貞子: 新カリキュラムによる教育実践中間報告, 秋田県立大学短期大学部紀要, 創刊号:57-61, 2000.
- 16) 中田征克, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介: 目標値表示法の差異が最大下の握力発揮における筋力発揮調整能の評価に及ぼす影響, CIRCULAR 61:63-69, 2000.
- 17) 元祐謙吾, 出村慎一, 山次俊介, 中田征克, 長澤吉則: 上肢における直線偏光近赤外線照射が持続的把握作業後の主観的筋疲労感覚及び皮膚血流量に及ぼす影響, CIRCULAR 61:135-141, 2000.
- 18) 南雅樹, 出村慎一, 佐藤進, 長澤吉則, 松澤甚三郎: 定期的な運動の実施が高齢者の体力特性に及ぼす影響, 教育医学 46:1005-1011, 2000.
- 19) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Yoshinori Nagasawa, Masaki Minami, Ichiro Kita: Examination of force-production properties during static explosive grip based on force-time curve parameters. Perceptual and Motor Skills 91:1209-1220, 2000.
- 20) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Fumio Goshi, Yoshinori Nagasawa: The influence of posture change on measurements of relative body fat in the bioimpedance analysis method. Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science 20:29-35, 2001.
- 21) 小林秀紹, 出村慎一, 佐藤進, 南雅樹, 長澤吉則: 青年を対象とした疲労自覚症状尺度の検討: 自覚症状しらべとの関係, 体育学研究 46:35-46, 2001.
- 22) 出村慎一, 山次俊介, 野田政弘, 北林保, 長澤吉則: 静止立位姿勢における足圧中心動揺の評価変数の検討: 試行間信頼性と変数相互の関係の観点から, Equilibrium Research 60:44-55, 2001.
- 23) 出村慎一, 小林秀紹, 佐藤進, 長澤吉則: 青年用疲労自覚症状尺度の妥当性の検討. 日本公衆衛生雑誌 48:76-84, 2001.
- 24) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Tomohiko Murase, Yoshinori Nagasawa, Susumu Sato, Masaki Minami: New prediction equation for residual volume in

Japanese male and female young adults. The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness 41: 114-120, 2001.

- 25) 出村慎一, 野田政弘, 南雅樹, 長澤吉則, 多田信彦, 松澤甚三郎: 在宅高齢者における生活満足度に関する要因, 日本公衆衛生雑誌 48: 356-366, 2001.
- 26) 野田政弘, 出村慎一, 南雅樹, 長澤吉則, 多田信彦, 野田洋平: 在宅高齢者における生活満足度の特徴: 性差, 年代差および生活満足度相互の関連, 体育学研究 46: 257-267, 2001.
- 27) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Yoshinori Nagasawa, Yukio Ikemoto, Shigeru Shimada: Force developmental phase and reliability in explosive and voluntary grip exertions. Perceptual and Motor Skills 92: 1009-1021, 2001.
- 28) Susumu Sato, Shinichi Demura, Fumio Goshi, Masaki Minami, Hidetsugu Kobayashi, Yoshinori Nagasawa: Utility of ADL index for partially dependent older people: discriminating the functional level of an older population. Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science 20: 321-326, 2001.
- 29) 長澤吉則, 出村慎一, 山次俊介, 島田茂: 中・高年者における筋力発揮調整能と体力との関係及びその性差, 体力科学 50: 425-436, 2001.
- 30) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Fumio Goshi, Yoshinori Nagasawa: Lateral dominance of legs in maximal muscle power, muscular endurance, and grading ability. Perceptual and Motor Skills 93: 11-23, 2001.
- 31) 山次俊介, 出村慎一, 野田政弘, 長澤吉則, 中田征克, 北林保: 足圧中心動揺による評価変数の日間信頼性の検討, Equilibrium Research 60: 217-226, 2001.
- 32) 吉村喜信, 出村慎一, 山次俊介, 長澤吉則, 南雅樹, 松澤甚三郎: 静的瞬発握力における増張力局面の力-時間関係に基づく発揮パターンの分類, 教育医学 47: 194-201, 2001.
- 33) 南雅樹, 出村慎一, 長澤吉則, 多田信彦, 松澤甚三郎: 健常高齢者における体力要素間の関連性: 性差及び年代差, 体力科学 50: 571-582, 2001.
- 34) 中田征克, 出村慎一, 山次俊介, 野口雄慶, 北林保, 長澤吉則: 足圧中心変位の中心位置と体調との関係, 体育測定評価研究1: 15-20, 2001.
- 35) 小林由喜也, 伊藤寛治, 神田啓臣, 神宮字寛, 長谷川恒行, 田代卓, 棟方晃三, 長澤吉則, 谷口吉光: 授業改善のための学生による授業評価アンケートの実施: 調査結果ならびに評価とその活用に向けて, 秋田県立大学短期大学部紀要 2: 37-54, 2001.
- 36) 南雅樹, 出村慎一, 長澤吉則: 市町村行事に参加した高齢者の生活習慣, 健康状態と不定愁訴の特徴: 性および年齢階級差の観点から, 日本衛生学雑誌56: 682-692, 2002.
- 37) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Fumio Goshi, Hidetsugu Kobayashi, Susumu Sato, Yoshinori Nagasawa: The validity and reliability of relative body fat estimates and the construction of new prediction equations for young Japanese

- adults males. Journal of Sports Sciences 20: 153-164, 2002.
- 38) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, Fumio Goshi, Yoshinori Nagasawa: The influence of transient change of total body water on relative body fats based on three bioelectrical impedance analyses methods. Comparison between before and after exercise with sweat loss, and after drinking. The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness 42: 38-44, 2002.
- 39) Shunsuke Yamaji, Shinichi Demura, Yoshinori Nagasawa, Masakatsu Nakada, Tamotsu Kitabayashi: The effect of measurement time when evaluating static muscle endurance during sustained static maximal gripping. Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science 21: 151-158, 2002.
- 40) 北林保, 出村慎一, 長澤吉則, 野島利栄: Vespa amino-acid mixture (VAAM)の経口摂取が最大下持久運動中の生理学的応答および主観的運動強度に及ぼす影響, 教育医学 47: 273-279, 2002.
- 41) Susumu Sato, Shinichi Demura, Hidetsugu Kobayashi, Yoshinori Nagasawa: The relationship and its change with aging between ADL and daily life satisfaction characteristics in independent Japanese elderly Living at home. Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science 21: 195-204, 2002.
- 42) Yoshinori Nagasawa, Shinichi Demura: Development of an apparatus to estimate coordinated exertion of force. Perceptual and Motor Skills 94: 899-913, 2002.
- 43) 出村慎一, 山次俊介, 小林秀紹, 長澤吉則: 筋力発揮回復に及ぼす近赤外線照射の効果, デサントスポーツ科学 23: 17-26, 2002.
- 44) 中田征克, 出村慎一, 北林保, 長澤吉則: ステップ動作に基づく高齢者の動的バランス能力評価法の検討: 立位片脚ステップ動作における利き脚と非利き脚の比較及び相互関係, 教育医学 47: 340-346, 2002.
- 45) Susumu Sato, Shinichi Demura, Hidetsugu Kobayashi, Yoshinori Nagasawa: Validity and reliability of body composition assessed by the sulphur hexafluoride dilution method. Journal of Sports Sciences 20: 663-670, 2002.
- 46) 南雅樹, 出村慎一, 長澤吉則: 市町村行事に参加した健常な男性高齢者における体力と生活習慣および健康状態との関係, 日本公衆衛生雑誌 49: 1040-1052, 2002.
- 47) 出村慎一, 長澤吉則, 南雅樹, 松澤甚三郎, 多田信彦, 菅野紀昭: 市町村行事に参加した健常な高齢者における体力と生活習慣、健康状態との関係およびその性差, 日本生理人類学会誌 7: 171-182, 2002.
- 48) 中田征克, 出村慎一, 山次俊介, 長澤吉則: 静的瞬発握力発揮における前腕屈筋のEMGの特性, 体育測定評価研究 2: 83-88, 2002.

	<p>49) Shinichi Demura, Masaki Minami, <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Nobuhiko Tada, Jinzaburo Matsuzawa, Susumu Sato: Physical-fitness declines in older Japanese adults. <i>Journal of Aging and Physical Activity</i> 11: 112-122, 2003.</p> <p>50) Shinichi Demura, Shunsuke Yamaji, <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Susumu Sato, Masaki Minami, Yoshinobu Yoshimura: Reliability and gender differences of static explosive grip parameters based on force-time curves. <i>Journal of Sports Medicine and Physical Fitness</i> 43: 28-35, 2003.</p> <p>51) Shinichi Demura, <u>Yoshinori Nagasawa</u>: Relations between perceptual and physiological response during incremental exercise followed by an extended bout of submaximal exercise on a cycle ergometer. <i>Perceptual and Motor Skills</i> 96: 653-663, 2003.</p> <p>52) Hidetsugu Kobayashi, Shinichi Demura, <u>Yoshinori Nagasawa</u>: Gender difference of subjective symptoms of fatigue among Japanese adolescents. <i>Environmental Health and Preventive Medicine</i> 8: 41-46, 2003.</p> <p>53) 池本幸雄, 出村慎一, <u>長澤吉則</u>, 山次俊介, 島田茂, 南雅樹: 高専男子学生の生活習慣および健康状態の特徴, <i>日本生理人類学会誌</i> 8: 62-68, 2003.</p> <p>54) Shinichi Demura, <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Tamotsu Kitabayashi, Jinzaburo Matsuzawa: Effect of amino acid mixture intake on physiological responses and rating of perceived exertion during cycling exercise. <i>Perceptual and Motor Skills</i> 96: 883-895, 2003.</p> <p>55) <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Shinichi Demura, Masakatsu Nakada: Reliability of a computerized target-pursuit system for measuring coordinated exertion of force. <i>Perceptual and Motor Skills</i> 96: 1071-1085, 2003.</p> <p>56) 島田茂, 出村慎一, 池本幸雄, 山次俊介, 南雅樹, <u>長澤吉則</u>: 高専男子学生における体力と生活習慣および健康状態との関係, <i>日本生理人類学会誌</i> 8: 110-118, 2003.</p> <p>57) Shunsuke Yamaji, Shinichi Demura, <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Masakatsu Nakada: Relationships between decreasing force and muscle oxygenation kinetics during sustained static gripping. <i>Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science</i> 23:41-47, 2004.</p>
<p>II 学会報告</p>	<p>1) 豊島慶男, <u>長澤吉則</u>, 重川敬三「肢体不自由児の身体発育と性差」日本体力医学会第9回東北地方会大会(於: 仙台市シルバーセンター) 1999年6月</p> <p>2) 重川敬三, 宮下正弘, 田中耕平, 豊島慶男, 竹本吉夫, <u>長澤吉則</u>「妊婦の運動処方・妊婦への効果」日本体力医学会第9回東北地方会大会(於: 仙台市シルバーセンター) 1999年6月</p> <p>3) <u>長澤吉則</u>, 出村慎一, 小林秀紹, 松澤甚三郎, 多田信彦, 野田政弘「成人女性におけ</p>

- る踵骨骨量と体力の関係」日本教育医学大会第 47 回大会兼日韓健康教育シンポジウム第 8 回大会（於：サンピア岐阜）1999 年 8 月
- 4) 北林保, 出村慎一, 南雅樹, 長澤吉則, 小林秀紹, 山次俊介「重心動揺変数における試行間の信頼性の検討」日本教育医学大会第 47 回大会兼日韓健康教育シンポジウム第 8 回大会（於：サンピア岐阜）1999 年 8 月
- 5) 長澤吉則, 出村慎一, 郷司文男, 南雅樹, 多田信彦, 豊島慶男「発揮力量の違いによる筋力発揮調整能測定値の変動」日本体力医学会第 54 回大会（於：熊本市市民会館, 国際交流会館, 産業文化会館）1999 年 9 月
- 6) 出村慎一, 山次俊介, 長澤吉則, 中田征克「持続性把握作業における低下曲線の変曲時間の検討」日本体力医学会第 54 回大会（於：熊本市市民会館, 国際交流会館, 産業文化会館）1999 年 9 月
- 7) 山次俊介, 出村慎一, 小林秀紹, 長澤吉則, 中田征克「力-時間変数による静的瞬発握力の評価方法の検討-静的瞬発握力発揮と反復性把握作業後の握力発揮の比較-」日本体力医学会第 54 回大会（於：熊本市市民会館, 国際交流会館, 産業文化会館）1999 年 9 月
- 8) 長澤吉則, 出村慎一, 南雅樹, 豊島慶男「高齢者における筋力発揮調整能の特性-若年者との比較及び性差の観点から-」日本体育学会第 50 回記念大会兼体育・スポーツ関連学会連合大会（於：東京大学駒場キャンパス）1999 年 10 月
- 9) 中田征克, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介「最大反復把握作業を用いた筋持久力評価法の検討-各種評価変数相互の関係の観点から-」日本体育学会第 50 回記念大会兼体育・スポーツ関連学会連合大会（於：東京大学駒場キャンパス）1999 年 10 月
- 10) 山次俊介, 出村慎一, 吉村喜信, 長澤吉則「静的瞬発握力と任意の最大握力における力-時間曲線の再現性、及び評価変数の信頼性の検討」日本体育学会第 50 回記念大会兼体育・スポーツ関連学会連合大会（於：東京大学駒場キャンパス）1999 年 10 月
- 11) 長澤吉則, 出村慎一, 松澤甚三郎, 多田信彦, 池本幸雄, 野田洋平「成人男性における踵骨骨量と体力の関係」日本教育医学大会第48回大会（於：茨城大学）2000年 8 月
- 12) 吉村喜信, 出村慎一, 山次俊介, 長澤吉則, 野島利栄「激運動後の等速性筋力発揮の回復に及ぼす直線偏光処理近赤外線照射の効果」日本教育医学大会第 48 回大会（於：茨城大学）2000 年 8 月
- 13) 元祐謙吾, 出村慎一, 長澤吉則, 小林秀紹「近赤外線照射が上肢の筋疲労回復に及ぼす影響」日本教育医学大会第 48 回大会（於：茨城大学）2000 年 8 月
- 14) 長澤吉則, 出村慎一, 山次俊介, 中田征克「中・高年者における筋力発揮調整能と体力の関係及びその性差」日本体力医学会第 55 回大会（於：富山国際会議場, 富山市民プラザ）2000 年 9 月
- 15) 松澤甚三郎, 出村慎一, 長澤吉則, 郷司文男, 南雅樹, 多田信彦「施設入所障害高齢者における日常生活動作能力の特性：移動時の補助具使用状況別の観点から」日本体



- 力医学会第 55 回大会（於：富山国際会議場，富山市民プラザ）2000 年 9 月
- 16) 山次俊介，出村慎一，長澤吉則，中田征克「持続性最大握力発揮中の力-時間曲線と筋酸素動態との関係」日本体力医学会第 55 回大会（於：富山国際会議場，富山市民プラザ）2000 年 9 月
- 17) 長澤吉則，出村慎一，中田征克，村田智宏，島田茂「指標追従による筋力発揮調整能測定値の信頼性-試行間および日間の測定値の観点から-」日本体育学会第 51 回大会（於：奈良女子大学，なら 100 年会館）2000 年 10 月
- 18) 中田征克，出村慎一，長澤吉則，山次俊介，元祐謙吾，吉村喜信「最大下の反復把握作業を用いた筋持久力の特性-各評価変数の性差および評価変数相互の関係の観点から-」日本体育学会第 51 回大会（於：奈良女子大学，なら 100 年会館）2000 年 10 月
- 19) 村田智宏，出村慎一，長澤吉則，北林保「捻挫により不安定感を有する足関節周囲筋群の神経・筋機能について」日本体育学会第 51 回大会（於：奈良女子大学，なら 100 年会館）2000 年 10 月
- 20) 山次俊介，出村慎一，中田征克，長澤吉則「最大反復把握作業における筋力発揮値と筋酸素動態の信頼性の検討」日本運動生理学会第 9 回大会（於：日本体育大学 横浜・健志台キャンパス）2001 年 7 月
- 21) 長澤吉則，出村慎一，春日晃章，菅野紀昭「市町村行事に参加した高齢者における不定愁訴の特徴-性および年齢階級差の観点から-」日本教育医学大会第 49 回大会兼日韓健康教育シンポジウム第 9 回大会（於：梨花女子大学 学生文化館 韓国ソウル特別市）2001 年 8 月
- 22) 中田征克，出村慎一，南雅樹，長澤吉則，山次俊介，吉村喜信「最大反復把握発揮における筋持久力評価変数の性差の検討」日本教育医学大会第 49 回大会兼日韓健康教育シンポジウム第 9 回大会（於：梨花女子大学 学生文化館 韓国ソウル特別市）2001 年 8 月
- 23) 長澤吉則，出村慎一，山次俊介，南雅樹「指標追従による筋力発揮調整能の左右差及び相互の関係」日本体力医学会第 56 回大会（於：仙台国際センター，宮城県スポーツセンター）2001 年 9 月
- 24) 山次俊介，出村慎一，長澤吉則，内山応信「等速性筋力発揮に基づく最大筋力、グレーディング能力、および筋持久力の下肢一側優位性の検討」日本体力医学会第 56 回大会（於：仙台国際センター，宮城県スポーツセンター）2001 年 9 月
- 25) 長澤吉則，出村慎一，山次俊介，内山応信「指標追従による筋力発揮調整能テストと上肢を用いた他の神経機能テストとの関係」日本体育学会第 52 回大会（於：北海道大学，かでの 2.7）2001 年 9 月
- 26) 中田征克，出村慎一，長澤吉則，山次俊介，吉村喜信，池本幸雄「持続性最大握力発揮における静的筋持久力評価変数の測定時間の検討」日本体育学会第 52 回大会（於：北海道大学，かでの 2.7）2001 年 9 月

- 27) 山次俊介, 出村慎一, 中田征克, 長澤吉則「足圧中心変位の中心位置と体調および精神的疲労度との関係」日本運動生理学会第 10 回大会 (於: つくば国際会議場) 2002 年 7 月
- 28) 長澤吉則, 出村慎一, 山次俊介, 中田征克「主観的運動強度と生理的応答との対応関係およびその身体部位別の差異」日本教育医学会第 50 回記念大会兼第 2 回国際教育医学会議 (於: 国際ホテル松山 愛媛県松山市) 2002 年 8 月
- 29) 松沢基三郎, 出村慎一, 長澤吉則, 多田信彦, 菅野紀昭, 乙坂晃寿「健常高齢者の基礎体力と生活習慣および健康状態の関係—性差および年代差の観点から」日本教育医学会第 50 回記念大会兼第 2 回国際教育医学会議 (於: 国際ホテル松山 愛媛県松山市) 2002 年 8 月
- 30) 山田孝禎, 出村慎一, 南雅樹, 長澤吉則, 小林秀紹, 多田信彦「アミノ酸混合物サプリメント摂取が持久運動中の生理学的応答および主観的運動強度に及ぼす影響」日本教育医学会第 50 回記念大会兼第 2 回国際教育医学会議 (於: 国際ホテル松山 愛媛県松山市) 2002 年 8 月
- 31) 長澤吉則, 出村慎一, 山次俊介, 中田征克「中・高年者における指標追従からみた上肢の筋力発揮調整能の反復試行による練習効果」日本体力医学会第 57 回大会 (於: 高知大学朝倉キャンパス) 2002 年 9 月
- 32) 山次俊介, 出村慎一, 長澤吉則, 中田征克, 池本幸雄「持続性最大握力発揮における測定時間の違いが静的筋持久力評価に及ぼす影響」日本体力医学会第 57 回大会 (於: 高知大学朝倉キャンパス) 2002 年 9 月
- 33) 中田征克, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介「最大反復把握作業における力—時間評価変数および筋酸素動態評価変数の信頼性」日本体力医学会第 57 回大会 (於: 高知大学朝倉キャンパス) 2002 年 9 月
- 34) 長澤吉則, 出村慎一, 中田征克, 吉村喜信「指標追従による筋力発揮調整能テストと上肢を用いた神経機能テストとの関係およびその性差」日本体育学会第 53 回大会 (於: 埼玉大学) 2002 年 10 月
- 35) 山次俊介, 出村慎一, 長澤吉則, 中田征克, 室岡隆之「直線偏光処理近赤外線照射が肩関節および足関節柔軟性に及ぼす効果」日本体育学会第 53 回大会 (於: 埼玉大学) 2002 年 10 月
- 36) 中田征克, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介, 吉村喜信, 池本幸雄「最大反復把握作業における筋力発揮値と筋酸素動態の再現性の検討」日本体育学会第 53 回大会 (於: 埼玉大学) 2002 年 10 月
- 37) 長澤吉則, 出村慎一「指標追従による上肢の筋力発揮調整能評価方法の開発」第 3 回アカンサスセミナー (於: 石川県教職員会館) 2002 年 11 月
- 38) 長澤吉則, 出村慎一, 山次俊介, 中田征克, 山田孝禎「発揮力量の違いによる筋力発揮調整能測定値および主観的筋疲労感覚の信頼性の検討」日本運動生理学会第 11 回

大会（於：中京大学名古屋キャンパス）2003年8月

- 39) 山田孝禎, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介「下腿長の差異が立ち上がり動作時の床反力および筋電図に及ぼす影響」日本運動生理学会第11回大会（於：中京大学名古屋キャンパス）2003年8月
- 40) 山次俊介, 出村慎一, 長澤吉則, 中田征克, 山田孝禎「種々の負荷による瞬発的把握動作の筋パワー出力特性の性差と変数相互の関係」日本運動生理学会第11回大会（於：中京大学名古屋キャンパス）2003年8月
- 41) 長澤吉則, 出村慎一, 小林秀紹, 松澤甚三郎, 池本幸雄, 乙坂晃寿「高専男子学生における体力と生活習慣および健康状態との関係」日・韓健康教育シンポジウム第10回記念大会兼日本教育医学大会第51回大会（於：岐阜医療技術短期大学）2003年8月
- 42) 菅野紀昭, 出村慎一, 長澤吉則, 小林秀紹, 山次俊介, 池本幸雄「高専男子学生の生活習慣および健康状態の特徴」日・韓健康教育シンポジウム第10回記念大会兼日本教育医学大会第51回大会（於：岐阜医療技術短期大学）2003年8月
- 43) 山田孝禎, 出村慎一, 長澤吉則, 小林秀紹, 中田征克, 北林保「立ち上がり動作時の床反力および関連筋の筋放電量に及ぼす椅子高の影響」日・韓健康教育シンポジウム第10回記念大会兼日本教育医学大会第51回大会（於：岐阜医療技術短期大学）2003年8月
- 44) 山次俊介, 出村慎一, 吉村喜信, 長澤吉則, 中田征克, 山田孝禎「陸上および水中における残気量測定値が身体密度, 体脂肪率に及ぼす影響」日・韓健康教育シンポジウム第10回記念大会兼日本教育医学大会第51回大会（於：岐阜医療技術短期大学）2003年8月
- 45) 長澤吉則, 出村慎一, 南雅樹, 北林保「神経機能障害を持つ若年者の筋力発揮調整能の特性－健常な若年者との比較及び性差の観点から－」日本体力医学会第58回大会（於：静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ）2003年9月
- 46) 中田征克, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介「持続的および反復的発揮における筋酸素動態の再現性」日本体力医学会第58回大会（於：静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ）2003年9月
- 47) 長澤吉則, 出村慎一, 北林保, 池本幸雄「指標追従による筋力発揮調整能テストの同時妥当性」日本体育学会第54回大会（於：熊本大学, 熊本県立劇場, 熊本市市民会館）2003年9月
- 48) 山田孝禎, 出村慎一, 長澤吉則, 山次俊介「立ち上がり動作における床反力評価変数相互の関係と下肢筋群の貢献度」日本体育学会第54回大会（於：熊本大学, 熊本県立劇場, 熊本市市民会館）2003年9月
- 49) 中田征克, 出村慎一, 長澤吉則, 内山応信「静的瞬発握力発揮における増張力局面の力－時間変数と前腕屈筋のEMGの関係」日本体育学会第54回大会（於：熊本大学,

	<p>熊本県立劇場，熊本市市民会館）2003年9月</p> <p>50) 野口雄慶，出村慎一，<u>長澤吉則</u>，山次俊介，室岡隆之，山田孝禎「異なるリズムステップ動作を用いた動的バランス能力の評価方法の検討ー若年者と高齢者の比較からー」日本体育学会第54回大会（於：熊本大学，熊本県立劇場，熊本市市民会館）2003年9月</p> <p>51) <u>長澤吉則</u>，出村慎一，佐藤進，中田征克，山田孝禎「上肢を用いた神経機能テストの測定および評価法の検討ー測定値の信頼性および個人内変動の観点からー」日本体育測定評価学会第3回大会（於：成城大学）2003年11月</p> <p>52) 山田孝禎，出村慎一，<u>長澤吉則</u>，佐藤進，中田征克「指示条件の違いが立ち上がり動作時の床反力および下肢筋活動量に及ぼす影響」日本体育測定評価学会第3回大会（於：成城大学）2003年11月</p> <p>53) 佐藤進，出村慎一，<u>長澤吉則</u>，中田征克，山田孝禎「単周波BIAによる全身および部位別脂肪率に及ぼす肥満度および体脂肪分布の影響ー中高年肥満女性と青年標準体型女性との比較ー」日本体育測定評価学会第3回大会（於：成城大学）2003年11月</p>
<p>Ⅲ 社会活動 および受賞歴 等</p>	<p>* 各種公的団体、審議会への参加・所属等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本教育医学会大会実行委員（2001年8月）</li> <li>2) 日本教育医学会理事（1994年8月～）</li> <li>3) 日本体力医学会東北地方会幹事（1998年9月～）</li> <li>4) 第62回秋田国体競技力向上対策本部体力診断事業アドバイザー（1998年10月～）</li> <li>5) 第12回秋田市幼稚園合同交流会トランポリン体操講師（1999年10月）</li> <li>6) 第13回秋田市幼稚園合同交流会幼児体操指導講師（2000年10月）</li> <li>7) 秋田県スポーツ医・科学委員会委員（1999年4月～）</li> <li>8) 秋田国体データベース検討委員会委員（2000年11月～2001年3月）</li> <li>9) 東北地区大学サッカー連盟大学委員会運営2部A委員（2002年4月～）</li> <li>10) 第27回東北地区大学サッカーリーグ大会役員（委員）（2002年9月）</li> <li>11) 第28回東北地区大学サッカーリーグ大会役員（委員）（2003年9月）</li> </ol> <p>* 学位、受賞歴等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本体育測定評価学会 学会奨励賞（2003年11月）</li> </ol>
<p>Ⅳ 講演、公開講座等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成13年度秋田県総合教育センター研修講座講師「講座番号C-52 センスアップ！運動部活動指導Ⅱ期：中学校・高等学校運動部活動指導者研修講座」「トレーニングの原則とその取り入れ方」（2001年10月18日，於：秋田県総合教育センター）</li> </ol>

	<p>2) 平成 15 年度秋田県総合教育センター研修講座講師「講座番号 C-36 センスアップ！運動部活動指導Ⅱ期：中学校・高等学校運動部活動指導者研修講座」「効果的な体力トレーニングの実際」(2004 年 1 月 8 日, 於：秋田県総合教育センター)</p>
<p>V その他の活動（助成研究、報告書等）</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 第 23 回石本記念デサントスポーツ科学振興財団研究助成「筋力発揮回復に及ぼす近赤外線照射の効果」2002 年 3 月</p> <p>2) 2001～2002 年度文部科学省科学研究費補助金奨励研究 A 「動的指標追従によるヒトの筋力発揮調整能に関する研究」(課題番号 13780048) 2003 年 3 月</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 「平成 11 年度秋田県立大学短期大学部体育実技ゴルフ実習報告書」秋田サンライズゴルフセンター, 2000 年 2 月</p> <p>2) 「健康によい運動とは？」秋田魁新報, 2002 年 4 月</p> <p>3) 「体力診断事業アドバイザーとして思うこと（運動部門）」平成 14 年度報告書（財団法人秋田県総合公社スポーツ会館管理事務所）2003 年 3 月, VOL.24</p>

高橋秀晴 助教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>* 著書</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 『「種蒔く人」の潮流／世界主義・平和の文学』（文治堂書店）1999年、（共著）</li> <li>2) 『秋田市史第十三巻現代史料編』（秋田市）2003年、（共著）</li> <li>3) 『秋田市史第四巻近現代 I 通史編』（秋田市）2004年、（共著）</li> </ol> <p>* 学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高橋秀晴「伊藤永之介と新山新太郎—未発表書簡群からの考察—」『社会文学』（日本社会文学会）1999年、第13号、107～119ページ（単著）</li> <li>2) 高橋秀晴「石坂洋次郎原作映画鑑賞『石中先生行状記』『国文学解釈と鑑賞／石坂洋次郎映画と旅とふるさと』（至文堂）2003年、別冊、85～90ページ（単著）</li> <li>3) 高橋秀晴「『水で書かれた物語』—石坂洋次郎に於ける津軽」『国文学解釈と鑑賞／石坂洋次郎映画と旅とふるさと』（至文堂）2003年、別冊、263～271ページ（単著）</li> <li>4) 高橋秀晴「出版物にみる国語教育史」『高専における国語コミュニケーションスキル教育の評価と改善』（国立高等専門学校協会教育方法改善共同プロジェクト）2003年、41～47ページ（単著）</li> <li>5) 高橋秀晴「伊藤永之介に於ける農村の発見」『国文学解釈と鑑賞／伊藤永之介・生誕百年—深い愛、静かな怒りのリアリズム—』（至文堂）2003年、別冊、97～101ページ（単著）</li> <li>6) 高橋秀晴「矢田津世子に潜在する問題系列」『秋田風土文学』（秋田風土文学会）2004年、第十二号、7～15ページ（単著）</li> </ol>
<p>II 学会報告</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高橋秀晴「「種蒔く人」発生の背景」「種蒔く人」80周年の集い（於：ホテル大和）2001年10月13日</li> <li>2) 高橋秀晴「時代の中、女性作家は —矢田津世子の文学活動—」日本社会文学会関東甲信越ブロック定例研究会（於：早稲田大学）2003年7月26日</li> <li>3) 高橋秀晴「伊藤永之介の「文芸戦線」掲載作品」「種蒔く人」「文芸戦線」を読む会第26回例会（於：東京都立工芸高等学校）2003年12月23日</li> </ol>
<p>III 社会活動および受賞歴等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本近代文学会東北支部運営委員（1995年5月～）</li> <li>2) 秋田市史編さん委員会執筆協力員（2001年4月～）</li> <li>3) 秋田県立秋田東高等学校学校評議員（2001年7月～2004年3月）</li> <li>4) 石坂洋次郎学会理事（2002年5月～）</li> <li>5) 秋田の文学資料調査収集委員会委員（2002年6月～）</li> <li>6) 秋田県高等学校文化連盟歌詞審査委員会委員長（2003年4月～2004年3月）</li> <li>7) 「あきたの文芸」選考委員（2003年5月～）</li> </ol>

<p>IV 講演、公開講座等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 秋田県総合教育センター平成 11 年度研修講座「作文・小論文指導の実際」(1999 年 10 月 5 日、於：秋田県総合教育センター)</li> <li>2) 秋田県総合教育センター平成 13 年度研修講座「郷土の作家を読む」(2001 年 10 月 3 日、於：秋田県総合教育センター)</li> <li>3) 日本文学同好会創立十周年記念公開講演「矢田津世子の生涯と文学」(2001 年 10 月 21 日、於：秋田中央図書館明德館)</li> <li>4) 平成 14 年度土崎図書館市民文化講座「秋田この百年の文学」(2002 年 9 月 4 日～10 月 2 日、於：土崎図書館)</li> <li>5) 日本文学同好会公開講演会「漱石文学における青年像」(2002 年 10 月 6、13 日、於：秋田中央図書館明德館)</li> <li>6) 秋田県国語教育研究大会「漱石文学における作中人物の系譜」(2002 年 10 月 10 日、於：秋田県立増田高等学校)</li> <li>7) 秋田県総合教育センター平成 14 年度公開講演「伊藤永之介の創作意識」(2002 年 11 月 5 日、於：秋田県総合教育センター)</li> <li>8) 伊藤永之介生誕百年記念講演会「農民の師父永之介」(2003 年 10 月 4 日、於：五城館)</li> </ol>
<p>V その他の活動（助成研究、報告書等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 資料紹介「伊藤永之介書簡（新山新太郎宛）二」（『秋田文学』第十号、1999 年 4 月）</li> <li>2) 「等身大の社会を映す…「伊藤永之介文学選集」発刊に寄せて」（「秋田魁新報」、1999 年 9 月 6、7 日）</li> <li>3) 資料紹介「伊藤永之介書簡（新山新太郎宛）三」（『秋田文学』第十一号、2000 年 6 月）</li> <li>4) 編集協力『矢田津世子作品集Ⅰ神楽坂』（五城目町教育委員会、2001 年 3 月）</li> <li>5) 編集協力『矢田津世子作品集Ⅱ花蔭』（五城目町教育委員会、2002 年 3 月）</li> <li>6) 「年譜—矢田津世子」「著書目録—矢田津世子」（講談社文芸文庫『神楽坂・茶粥の記／矢田津世子作品集』、2002 年 4 月）</li> <li>7) 「平成の矢田津世子…初の文庫本「神楽坂一」刊行をめぐって…」（「秋田魁新報」、2002 年 5 月 13、14 日）</li> <li>8) 監修「花蔭の人／美貌の作家 矢田津世子」（A B S 秋田放送「A B S スペシャル」、2002 年 6 月 26 日）</li> <li>9) 学芸欄連載「秋田近代小説そぞろ歩き」（「秋田魁新報」、2002 年 9 月～2003 年 10 月）</li> <li>10) 編集協力『矢田津世子作品集Ⅲ茶粥の記』（五城目町教育委員会、2003 年 3 月）</li> <li>11) 「伊藤永之介年譜」（『国文学解釈と鑑賞／伊藤永之介・生誕百年—深い愛、静かな怒りのリアリズム—』（至文堂）2003 年 9 月）</li> <li>12) 「生誕 100 年／伊藤永之介の世界／文学散歩・秋田市」（「秋田魁新報」、2003 年 9 月 11 日）</li> <li>13) 選評「一つの読み方」（『あきたの文芸』、2003 年 11 月 21 日）</li> </ol>

Joseph M. Young 教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>*学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) "Formal and Informal Verbs in Written English." Akita, Japan: RECCS Bulletin in #1, Akita Prefectural University. 2000. pp. 19-28.</li> <li>2) "A Guide to Ambiguous Pronoun Usage in English." Akita, Japan: RECCS Bulletin #2, Akita Prefectural University. 2001. pp. 17-22.</li> <li>3) "Colloquial Idioms in Semiformal Prose." Akita, Japan: RECCS Bulletin #3, Akita Prefectural University. 2002. pp. 1-4.</li> <li>4) "Irony as a Western Communication Form." Akita Japan: RECCS Bulletin #4, Akita Prefectural University. 2003.pp. 22-39.</li> <li>5) 75 Medical Journal Articles Published in International Medical Journals. Akita Medical School, Akita, Japan. 1999-2004. (Editor, Translator, Co-writer)</li> </ol>
<p>V その他の活動（助成研究、報告書等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) "Social Compliments in American Society." Akita, Japan: Sakigake Newspaper: Syndicated Series Column, Guest Writer. March 16, 2003.</li> </ol>



## 高階 悟 教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 高階悟「ブラック・フェミニズムの先覚者：フランシス・ハーパーの『アイオラ・ロイ、または、取り払われた黒い影』、『アメリカ小説の変容：多文化時代への序奏』（ミネルヴァ書房）2000年3月25日、216～230ページ（共著）</p> <p>2) 高階悟「アメリカの歴史と黒人の闘い：フレデリック・ダグラスの『奴隷体験記』、『闘いのアメリカ文学：多文化主義のポリティクス』（松柏社）2000年5月20日、64～81ページ（共著）</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 高階悟「黒人フェミニストの F.ハーパーの選択」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2000年 第1号、43～50ページ（単著）</p> <p>2) 高階悟"Multiculturalism and Ishmael Reed"『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2001年 第2号、50～60ページ（単著）</p> <p>3) 高階悟「英語第二公用語論の背景」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2002年 第3号、32～39ページ（単著）</p> <p>4) 高階悟「多文化主義への闘い- Ishmael Reed, Japanese by Spring-」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2003年第4号、24～34ページ（単著）</p> <p>5) 高階悟 "Japanese Thoughts on the Aftermath of September 11th"『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2004年第5号、29～38ページ（単著）</p>
<p>II 学会報告</p>	<p>1) 高階悟「19世紀の黒人女性 F・ハーパーの選択」第33回アメリカ学会年次大会（於：大正大学）1999年6月5日</p> <p>2) 高階悟「多文化主義への闘い- Ishmael Reed, Japanese by Spring-」第40回日本アメリカ文学会全国大会（於：岩手県立大学）2001年10月13日</p> <p>3) 高階悟 "Japanese Thoughts on the Aftermath of September 11" Asian and Pacific Americans in Higher Education Conference（於：Columbia University, N.Y.）2002年11月2日</p>
<p>III 社会活動および受賞歴等</p>	<p>1) 秋田英語英文学会副会長（2002年4月～）</p> <p>2) 秋田県 TOEIC 推進協議会委員（2003年4月～）</p>
<p>IV 講演、公開講座等</p>	<p>1) 秋田市町村国際文化研修所第8回国際理解講座「アメリカ社会の多様性」（2000年2月4日、於：秋田市市町村国際文化研修所）</p>

## 高橋 守 教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 高橋守『たのしく読めるネイチャーライティング—作品ガイド 120』 2000年、130-131、154-155、230-231、261 ページ (分担執筆)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 高橋守「ブルームのタキソノミー再考」『秋田英語英文学特別号』(秋田英語英文学会) 2000年、111~121 ページ (単著)</p> <p>2) 高橋守「秋田県立大学 CALL 教室内システムの現状と課題」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2000年、第1号、51~60 ページ (単著)</p> <p>3) 高橋守「Hot Potatoes とウェブデザインソフトを活用した CALL 教材の作り方」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2001年、第2号、61~73 ページ (単著)</p> <p>4) 高橋守「英語講読授業活性化プラン」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2002年、第3号、40~46 ページ (単著)</p> <p>5) 高橋守「英語テストのストラテジー (1)」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2003年、第4号、17~23 ページ (単著)</p>
<p>IV 講演、公開講座等</p>	<p>1) 外国語教育メディア学会関東支部第108回(2000年度)研究大会ワークショップ「CALL教材の作り方」(2001年10月14日、於:秋田県立大学秋田キャンパス)</p>
<p>V その他の活動(助成研究、報告書等)</p>	<p>1) 2003~2004年度秋田県立大学学長プロジェクト研究「科学技術英語教育の研究調査」(共同研究)</p>

Stephen Shucart 助教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>*学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 'Language Emergence' RECCS Bulletin #1, Akita Prefectural University. 2000</li> <li>2) 'The Definitive Internet Scavenger Hunt' in Recipes for Wired Teachers Edited by Kevin Ryan. JALT CALL SIG Publications; 2000</li> <li>3) 'Language Emergence in a Terraced Labyrinth' RECCS Bulletin #2, Akita Prefectural University. 2001</li> <li>4) 'CALL &amp; Complexity' co-authored with Dr. Charles Adamson, The Changing Face Of CALL, Edited by Scott Peterson and Michael Kruse, JALT CALL SIG Publications, 2002</li> <li>5) 'The Terraced Labyrinth of Language Learning' co-authored with Dr. Charles Adamson, The Changing Face Of CALL; A Japanese Perspective, Edited by Paul Lewis, Swets &amp; Zeitlinger B.V., Lisse, The Netherlands, 2002</li> <li>6) 'Complexity &amp; CALL' RECCS Bulletin #4, Akita Prefectural University. 2003</li> <li>7) 'Wolfram Classes/Language Classes Revisited' CALL-EJ Online, Professor Kazunori Nozawa, Editor, Vol. 5, No. 2, January 2004</li> <li>8) 'Wolfram Classes/Language Classes Redux' RECCS Bulletin #5, Akita Prefectural University. 2004</li> </ol>
<p>III 社会活動および受賞歴等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 'Complexity Science and the CALL Lab' Akita JALT Chapter Meeting, MSU-A, Yuwa City, Akita, Japan, July 16th, 1999</li> <li>2) 'Language Emergence and Complexity Science' JALT 25th International Conference on Language Teaching, Maebashi, Japan, October 10th, 1999</li> <li>3) 'Browser-Based Javascript Quizzes' TESOL 2000, 34th Annual Convention, Vancouver B.C. Canada, March 17th, 2000</li> <li>4) 'Language Emergence in a Complex System' LET Conference, Akita Prefectural University, October 14, 2000</li> <li>5) 'Complexity: Taming the Wild Fitness Landscape' JALT 26th International Conference on Language Teaching. Shizuoka, Japan, November 5, 2000</li> <li>6) 'ESP [English for Special Purposes] - Adapting an American High School Science Textbook for the ESL/EFL Classroom' Akita JALT Chapter Meeting, Joinus, Akita City, Akita, Japan, March 27, 2004</li> <li>7) 'ESP [English for Special Purposes] - Adapting an American High School Science Textbook for the ESL/EFL Classroom' Iwate JALT Chapter Meeting, Morioka, Iwate, July 2004</li> </ol>
<p>IV 講演、公開講座等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) JALTCALL Special Interest Group, Telecommunications Chair, November 1999 to November 2002</li> <li>2) Akita JALT Chapter - Publicity Chairman, December 2003 to present</li> </ol>

## 榎木蘭鉄也 助教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 本名信行, 田嶋ティナ宏子, 河原俊昭, 榎木蘭鉄也 『アジア英語辞典』、2002年、三省堂 (共著)</p> <p>2) 本名信行 (編) 『事典アジアの最新英語事情』2002年、大修館書店 (共著)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 榎木蘭鉄也 「アジアの英語事情 9-インドの場合」『英語教育』2000年12月号、大修館書店、46~47 ページ (単著)</p> <p>2) 榎木蘭鉄也 "English in India: possibilities of non-native Englishes for inter-Asian communication" (<i>Asian Englishes Studies Monograph Series No.1</i> (The Japanese Association for Asian Englishes)、2000年、第1号、37~48 ページ (単著)</p> <p>3) 榎木蘭鉄也 "English in India: possibilities of non-native Englishes for inter-Asian communication" <i>Journal of Intercultural Communication Studies</i> (International Association for Intercultural Communication Studies)、2001年、第10号、29~37 ページ (単著)</p> <p>4) 榎木蘭鉄也 「インド英語の発音-特にヒンディー語話者 (ウルドゥー語話者) の話す母語の影響の強い英語の発音について」『秋田県立大学総合科学研究彙報』2001年、第2号、23~34 ページ (単著)</p> <p>5) 榎木蘭鉄也 「アジアの英語事情 13-パーキスターンの場合」『英語教育』2001年4月号、大修館書店、40~41 ページ (単著)</p> <p>6) 榎木蘭鉄也 「アジアの英語事情 14-ネパールの場合」『英語教育』2001年5月号、大修館書店、40~41 ページ (単著)</p> <p>7) 榎木蘭鉄也 「アジアの英語事情 15-スリランカの場合」『英語教育』2001年6月号、大修館書店、40~41 ページ (単著)</p> <p>8) 榎木蘭鉄也 「インドの言語政策と英語教育」『秋田県立大学総合科学研究彙報』2002年、第3号、13~31 ページ (単著)</p> <p>9) 榎木蘭鉄也 「インド『特集: 英語教員研修プログラム・その全容』」『英語教育』2003年7月号、大修館書店、23~24 (単著)</p>
<p>II 学会報告</p>	<p>1) 榎木蘭鉄也 "English in India: possibilities of non-native Englishes for inter-Asian communication" A paper read at a Panel Session "ASIAN ENGLISHES" at the 7th International Conference on Cross-Cultural Communication July 28-31, 1999 University of Louisville, USA</p> <p>2) 榎木蘭鉄也 「インド英語の特徴」日本「アジア英語」学会第8回全国大会・シンポジウム 「インド最新英語事情」、日本「アジア英語」、中京大学、2000年12月</p> <p>3) 榎木蘭鉄也 "Nominal Multilingualism in Foreign Language Education Policy in Japan with special reference to the 2002 Course of Study" INTERNATIONAL CONFERENCE ON LEARNING AND TEACHING LANGUAGE IN A MULTILINGUAL SOCIETY, The Language Centre, Universiti Brunei</p>

	<p>Darussalam, Brunei Darussalam, 2001年9月</p> <p>4) 榎木蘭鉄也「インドの言語教育から見た日本の外国語教育」(日本「アジア英語」学会第11回全国大会・シンポジウム「アジア英語と日本の英語教育」、日本「アジア英語」学会, 白百合女子大学, 2002年6月</p> <p>5) 榎木蘭鉄也「地方公立大学におけるLL教育の一実践例」(第2回全国英語教育学会神戸大会, 全国英語教育学会, 神戸大学, 2002年8月</p> <p>6) 榎木蘭鉄也 "English as an Asian Language: Diffusion and Multiculturalization: English as an Intranational Language in Some Asian Countries" The 9th International Conference on Cross-cultural Communication (ICCC), California State University, Fullerton, US, 2003年7月23日</p> <p>7) 榎木蘭鉄也 "The Significance of Sansendo Dictionary of Asian Englishes (2002) and the Future Developments in Other Asian Englishes Dictionaries" A presentation at a symposium entitled "English as an Asian Language and Japanese Contributions" The 14th National Conference of the Japanese Association for Asian Englishes, Chukyo University, Nagoya, 2003年12月6日</p>
<p>Ⅲ 社会活動 および受賞歴 等</p>	<p>日本「アジア英語」学会理事(設立発起人。紀要編集委員・ニューズレター編集長・査読委員・事務局)</p> <p>文部科学省「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」海外調査班</p>
<p>その他の活動 (助成研究、 報告書等)</p>	<p>* 研究集会発表</p> <p>1) 榎木蘭鉄也「神戸高専における英検指導の実践例」平成11年度全国公立高等専門学校協会教科別研究集会, 東京都立工業高等専門学校, 1999年8月</p> <p>* 文部科学省調査報告書</p> <p>1) 榎木蘭鉄也「インドの英語教育制度と政策」文部科学省「『英語が使える日本人』育成のための行動計画」海外調査班報告書, 2004年3月</p> <p>* 書評</p> <p>1) 榎木蘭鉄也『世界の言語政策(河原俊昭編著、くろしお出版、2002年)』『英語教育』2003年1月号、大修館書店</p>

## 佐藤博晴 助教授

<p>I 著書・学術論文</p>	<p>*学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) SATO Hiroharu "The Relationships between Ambiguity Tolerance, Language Learning Strategies and English Proficiency in Japanese College Students" 『秋田英語英文学』(秋田英語英文学会) 1999年、第41号、3~13ページ(単著)</li> <li>2) 佐藤博晴「外向性 / 内向性と日本人の英語聴解力の関係」『秋田公立美術工芸短期大学紀要』1999年、第4号、75~85ページ(単著)</li> <li>3) 佐藤博晴「認知・性格要因と英語聴解力の関係」『秋田英語英文学』(秋田英語英文学会) 2000年、第42号、13~22ページ(単著)</li> <li>4) 佐藤博晴「場依存 / 場独立的認知スタイルが日本人中学生の英語学習に与える影響」『秋田公立美術工芸短期大学紀要』2000年、第5号、41~49ページ(単著)</li> <li>5) 佐藤博晴・石浜博之「性格要因が小学生の英語学習に与える影響の有無」『秋田英語英文学』(秋田英語英文学会) 2001年、第43号、12~21ページ(共著)</li> <li>6) 佐藤博晴「場依存 / 場独立的認知スタイルの分化が日本人の英語学習に与える影響---中学生を被験者としたパイロットスタディ---」『秋田公立美術工芸短期大学紀要』2001年、第6号、49~56ページ(単著)</li> <li>7) 石浜博之・佐藤博晴「性格要因が子供の活動に与える影響に関する事例研究---公立小学校における英語・英会話クラブの活動を通して---」『中部地区英語教育学会紀要』、2002年、第31号、107~114ページ(共著)</li> <li>8) 佐藤博晴「場依存 / 場独立的認知スタイルの違いが日本人中学生の英語学習ストラテジー使用に与える影響」『秋田公立美術工芸短期大学紀要』、2002年、第7号、71~79ページ(単著)</li> <li>9) 佐藤博晴「認知スタイルの違いが日本人中学生の英語学習ストラテジー使用に与える影響」『東北英文学会第57回大会 proceedings』2003年、60~68ページ(単著)</li> </ol>
<p>II 学会報告</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 佐藤博晴「場依存 / 場独立的認知スタイルが日本人の英語学習に与える影響」第26回全国英語教育学会埼玉研究大会(於:東京国際大学)2000年8月8日(単独)</li> <li>2) 石浜博之・佐藤博晴「性格要因(内向性・外向性)が子供の活動に与える影響に関する事例研究---公立小学校の英語クラブ活動を通して---」第32回中部地区英語教育学会愛知大会(於:椋山女学園大学)2001年6月23日(共同)</li> <li>3) 佐藤博晴「認知スタイルの分化が中学生の英語学習に与える影響」第33回中部地区英語教育学会福井大会(於:福井大学)2002年6月29日(単独)</li> <li>4) 佐藤博晴「認知スタイルの違いが日本人中学生の英語学習ストラテジー使用に与える影響」東北英文学会第57回大会(於:東北大学)2002年11月23日(単独)</li> </ol>

総合科学教育研究センター個人業績

<p>Ⅲ 社会活動 および受賞歴 等</p>	<p>1) 東北英文学会評議員(1999年4月～) 2) 大学英語教育学会東北地区早期英語教育研究会研究委員(2000年4月～) 3) 第23回全国ジュニア英語スピーチコンテスト第2地区(青森・秋田・岩手)大会審査員(2000年12月23日、於:秋田市文化会館)</p>
<p>Ⅳ 講演、公 開講座等</p>	<p>1) 秋田公立美術工芸短期大学公開講座「小学生英語体験教室」(2002年3月23日、於:秋田公立美術工芸短期大学)</p>
<p>Ⅴ その他の 活動(助成研 究、報告書等)</p>	<p>1) 佐藤博晴「学習者要因が児童の言語活動(英語)に与える影響」『平成11年度秋田学術振興財団学術研究補助事業実績報告書』、2000年、31～48ページ 2) 佐藤博晴・石浜博之「公立小学校の英語指導に関する事例研究--- CD-ROM教材の分析と運用について---」『平成12年度秋田学術振興財団学術研究補助事業実績報告書』、2001年、45～57ページ 3) 佐藤博晴・石浜博之「ふるさと教育との融合を目指した小学校での英語教育実践」『平成13年度秋田学術振興財団学術研究補助事業実績報告書』、2002年、18～26ページ 4) 文部科学省長期在外研究員(2003年8月～2004年2月まで、米国ミネソタ州立セント・クラウド大学で研究)</p>